

プラント状況確認結果(平成26年4月8日～4月15日)

平成26年 4月 15日

福島県原子力安全対策課

○ 平成26年4月8日～4月15日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、平成26年4月13日、H5タンクエリア脇に設置していたプラスチックタンクの側面に穴が空き、貯めていた水の漏えいが確認されました。
また、同日、プロセス主建屋の滞留水を工作建屋等へ誤って移送したことが確認されました。詳細はこちらをご覧ください。

また、平成25年11月18日15時18分、4号機使用済燃料プールからの燃料取出し作業が開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況(4月15日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.3	4.5	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	17.7	27.0	24.7	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	1.53×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.01	0.04	0.08	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	16.5	13.8	13.8	17.1

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(4月15日午前10時)

最小 1.7(MP-6)～最大 5.0(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(4月14日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前)～最大 87(1～4号機取水口内南側) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(4月14日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満 ※検出限界値は0.54 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は0.53 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(4月14日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(4月14日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 0.26(2号機) Bq/cm³

【参考事項】

- ・ 4月13日 18時16分頃、発電所周辺町村で“震度4”となる地震が発生しましたが、プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はなかった。

(問い合わせ 024-521-1917)